

**永平寺町学校のあり方に関する
アンケート調査（地域住民）
【結果報告書】**

令和3年6月

永平寺町

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II 調査の結果	2
1. あなたご自身について	2
2. 小学校について	4
3. 中学校について	8

I 調査の概要

1. 調査の目的

将来にわたって質の高い教育を提供できる社会の実現に向けて、町内の小中学校のあり方を検討するための基礎資料として利用するとともに、今後の学校の運営・管理を進めるうえで参考とさせていただくことを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

- 調査対象 : 永平寺町在住の方 1,500 人を無作為に抽出
- 抽出方法 : 無作為抽出法
- 調査期間 : 令和3年1月
- 調査方法 : 郵送法によるアンケート調査

● 回収状況調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数 -無効票数(白票等)-	有効回収率
永平寺町学校のあり方に関する アンケート調査	1,500	685 -1-	45.7%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表のN数（number of case）、「サンプル数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II 調査の結果

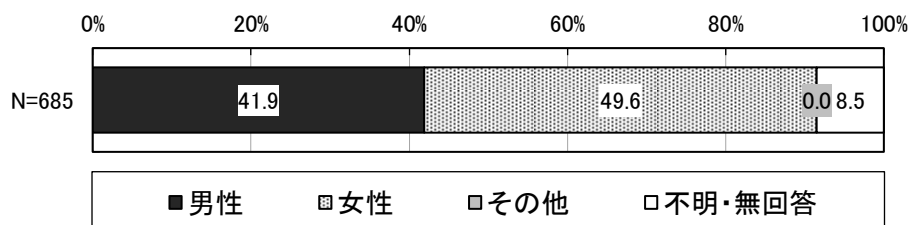
1. あなたご自身について

(1) あなたの性別、年齢

性別についてみると、「男性」が41.9%、「女性」が49.6%となっています。

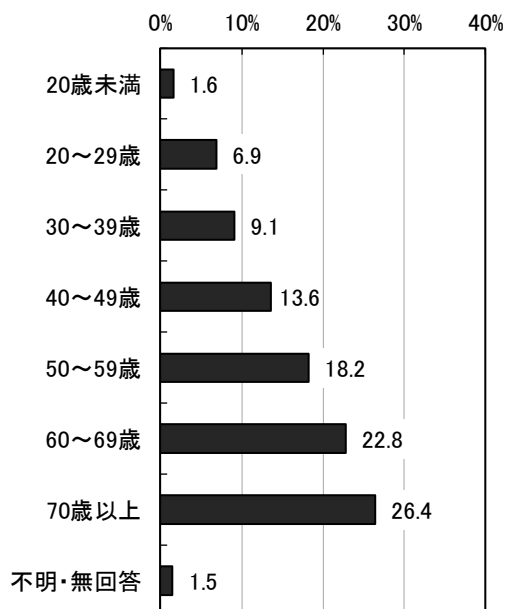
年齢についてみると、「70歳以上」が26.4%と最も高く、次いで「60～69歳」が22.8%、「50～59歳」が18.2%となっています。

■性別



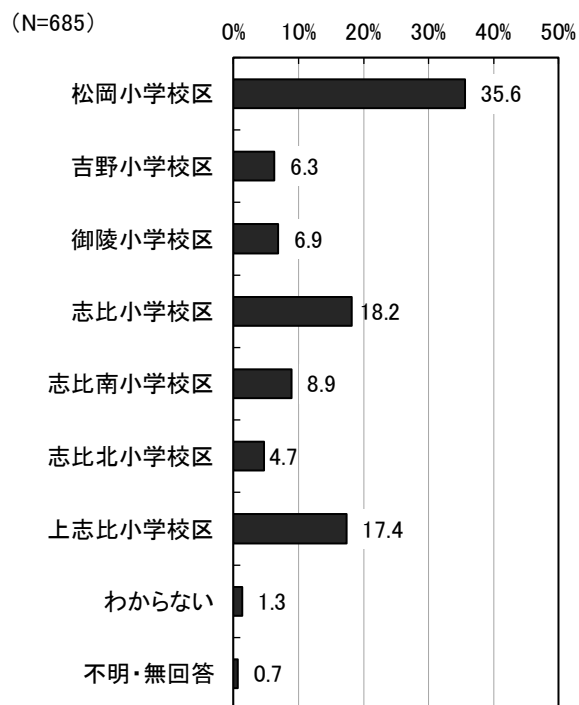
■年齢

(N=685)



(2) あなたが住んでいる小学校区（1つに○）

小学校区についてみると、「松岡小学校区」が 35.6%と最も高く、次いで「志比小学校区」が 18.2%、「上志比小学校区」が 17.4%となっています。

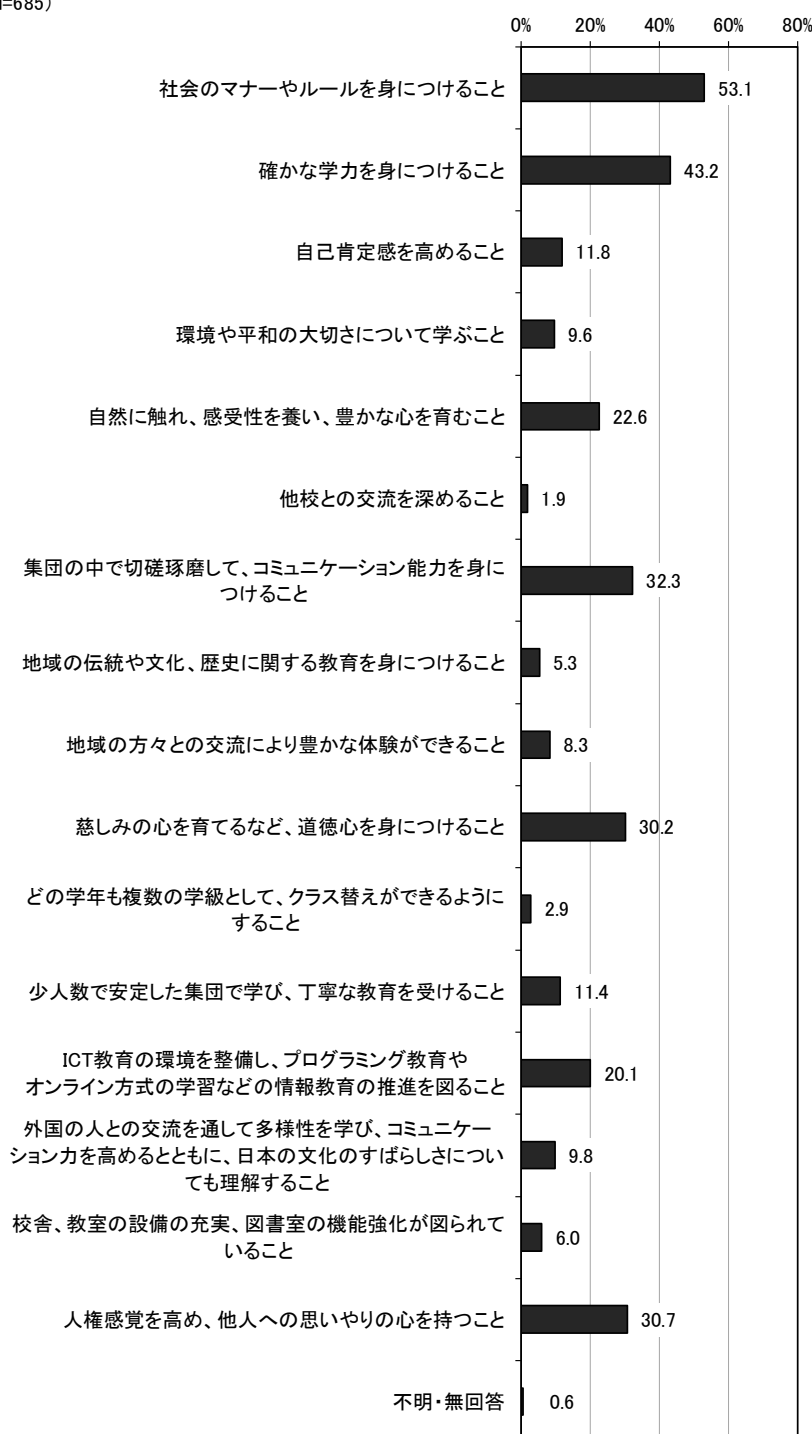


2. 小学校について

(1) 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。その他に、小学校教育で重要だと思うことは何ですか（3つに〇）

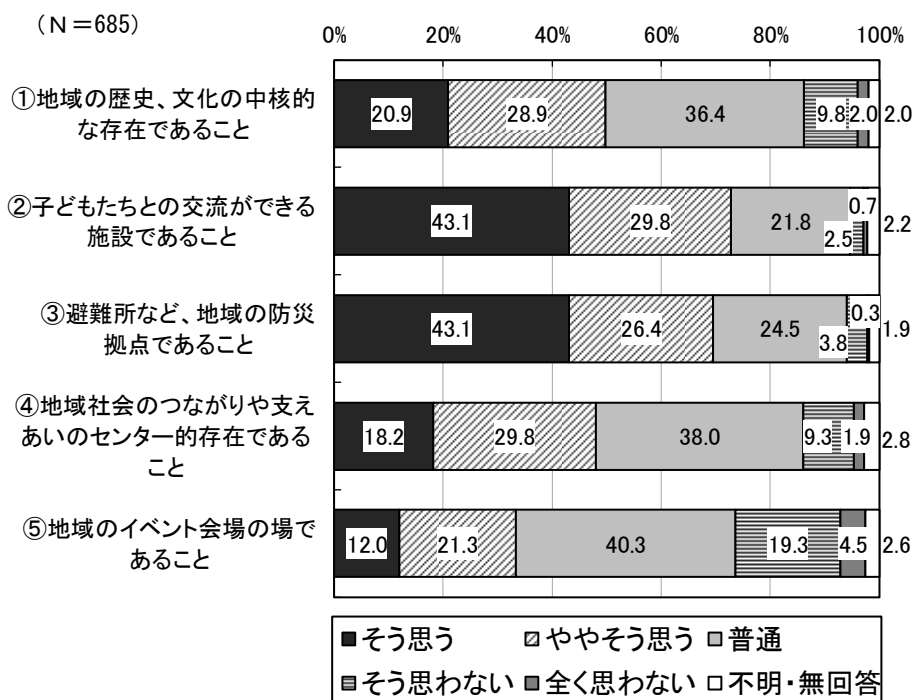
小学校教育で重要だと思うことについてみると、「社会のマナーやルールを身につけること」が53.1%と最も高く、次いで「確かな学力を身につけること」が43.2%、「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」が32.3%となっています。

(N=685)



(2) (1) の学校教育以外で、地域における小学校の役割（項目ごとに1つに〇）

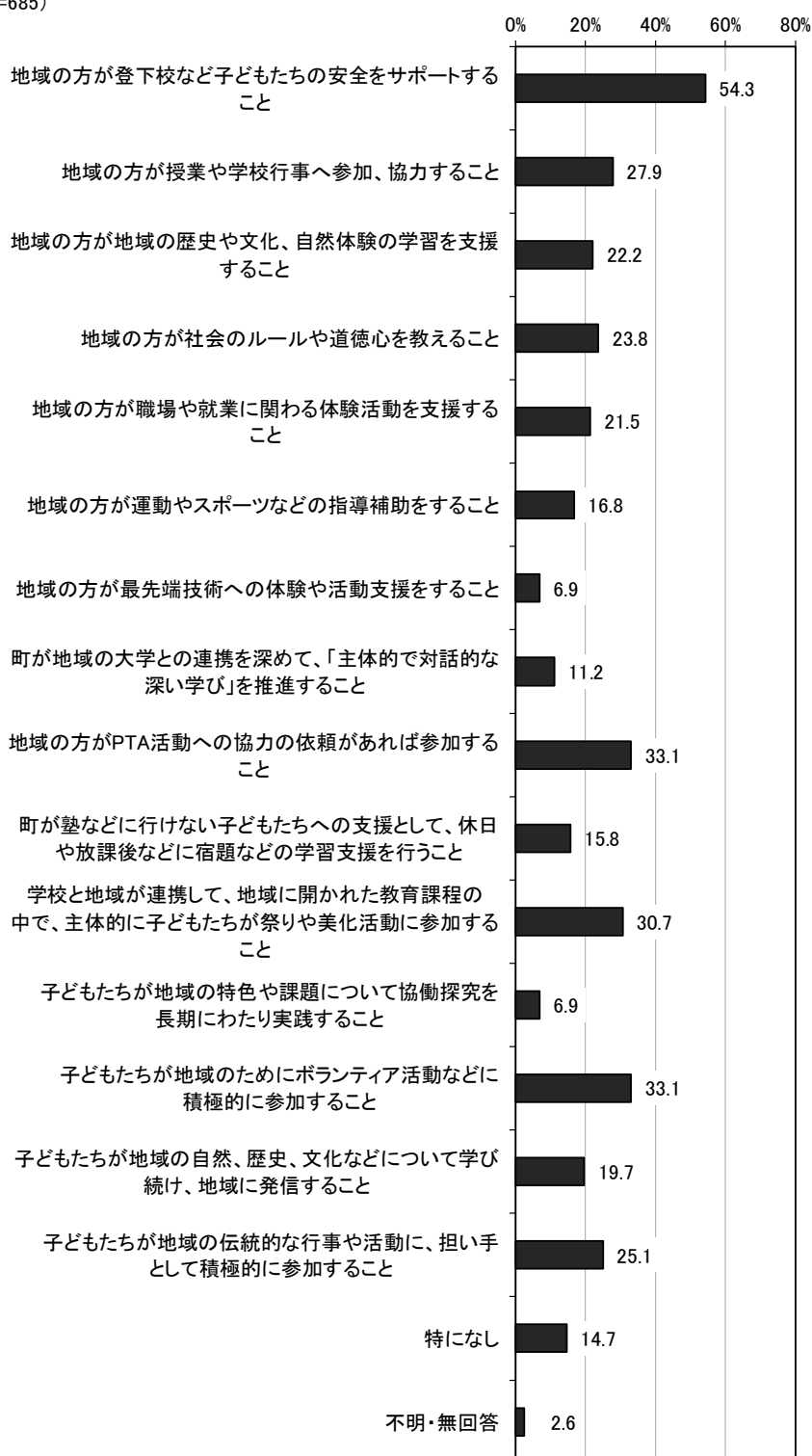
地域における小学校の役割についてみると、そう思う（『そう思う』と『ややそう思う』の合計）では「②子どもたちとの交流ができる施設であること」が72.9%、「③避難所など、地域の防災拠点であること」が69.5%、思わない（『そう思わない』と『全く思わない』の合計）では「⑤地域のイベント会場の場であること」が23.8%と高くなっています。



(3) 小学校との関わりについて、あなたが継続的に協力できることは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

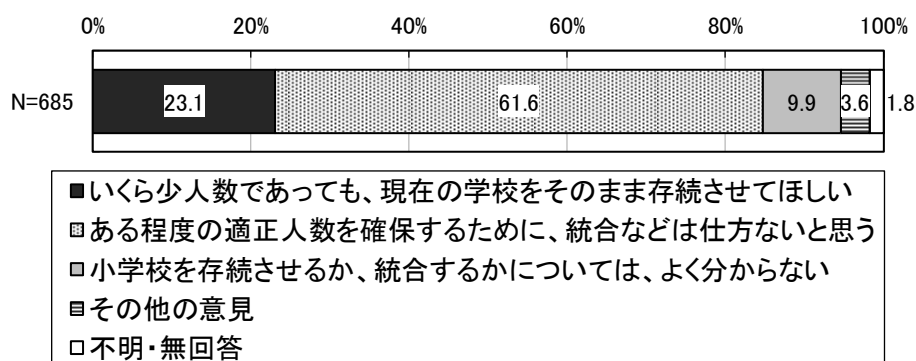
小学校との関わりについて継続的に協力できることについてみると、「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートすること」が54.3%と最も高く、次いで「地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加すること」「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」が同率で33.1%となっています。

(N=685)



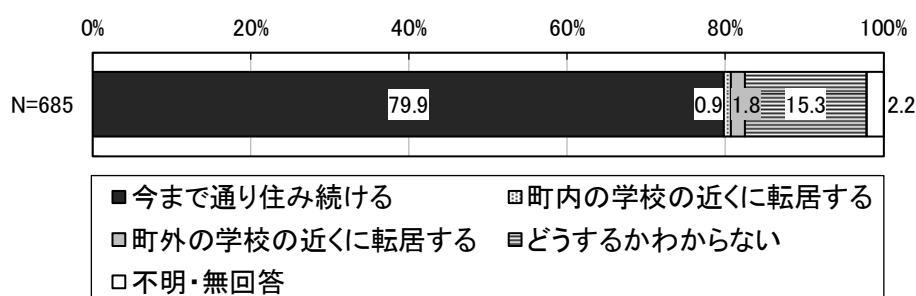
(4) 子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて（1つに○）

廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないかについてみると、「ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う」が61.6%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい」が23.1%、「小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない」が9.9%となっています。



(5) もしも、将来、子どもたちが通学している小学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか（1つに○）

小学校が統合され、廃校、休校となった場合についてみると、「今まで通り住み続ける」が79.9%と最も高く、次いで「どうするか分からない」が15.3%、「町外の学校の近くに転居する」が1.8%となっています。

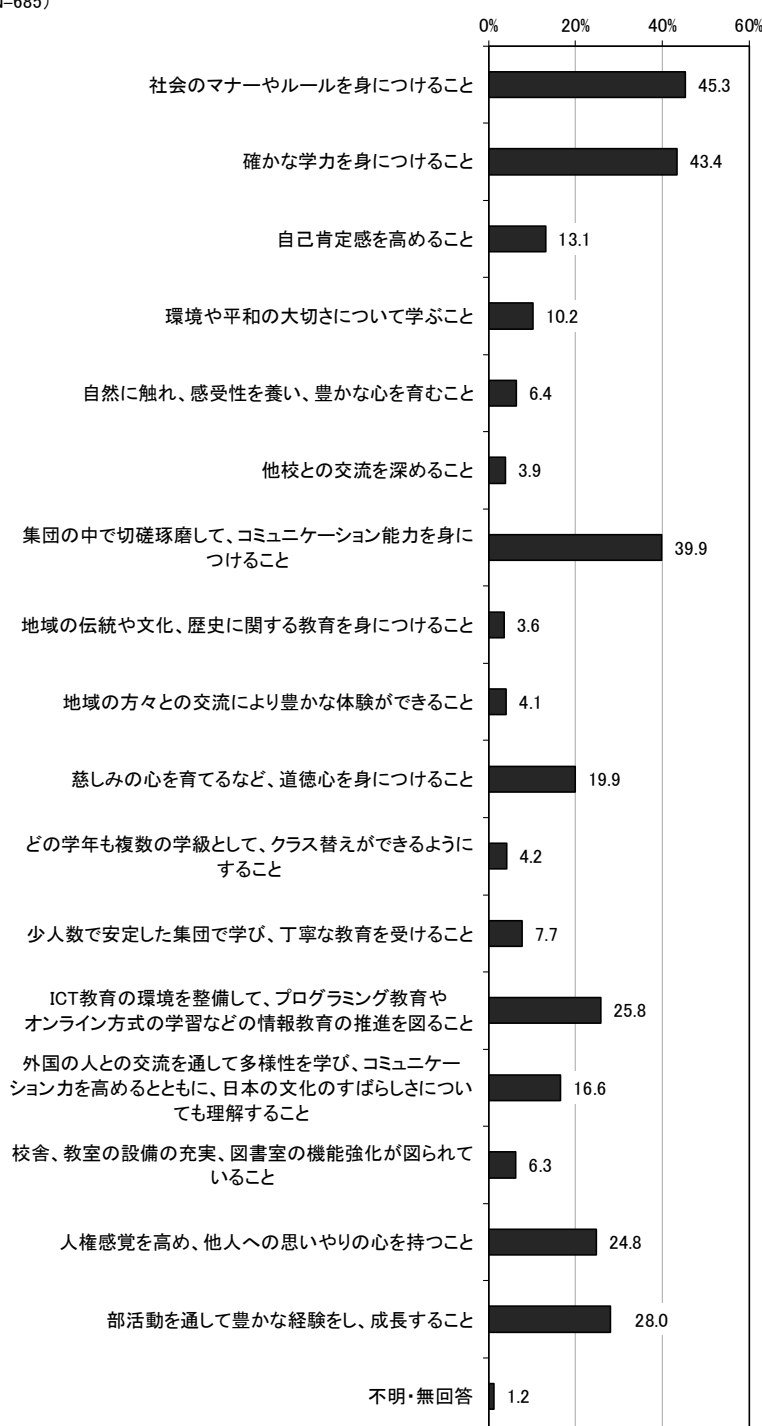


3. 中学校について

(1) 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、中学校教育で重要だと思うことは何ですか（3つに〇）

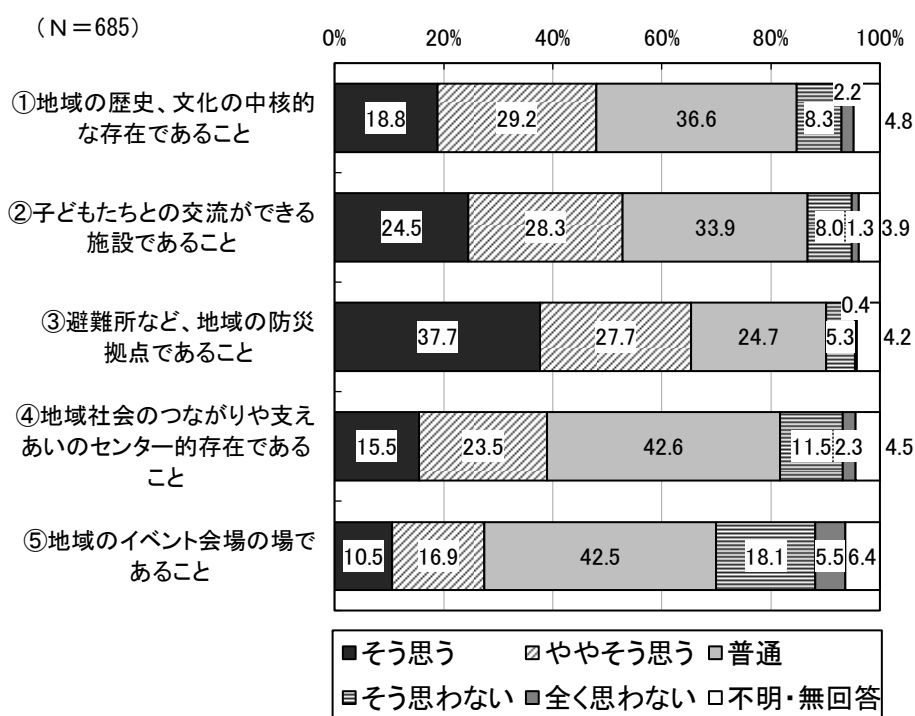
中学校教育で重要だと思うことについてみると、「社会のマナーやルールを身につけること」が45.3%と最も高く、次いで「確かな学力を身につけること」が43.4%、「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」が39.9%となっています。

(N=685)



(2) (1) の学校教育以外で、地域における中学校の役割（項目ごとに1つに○）

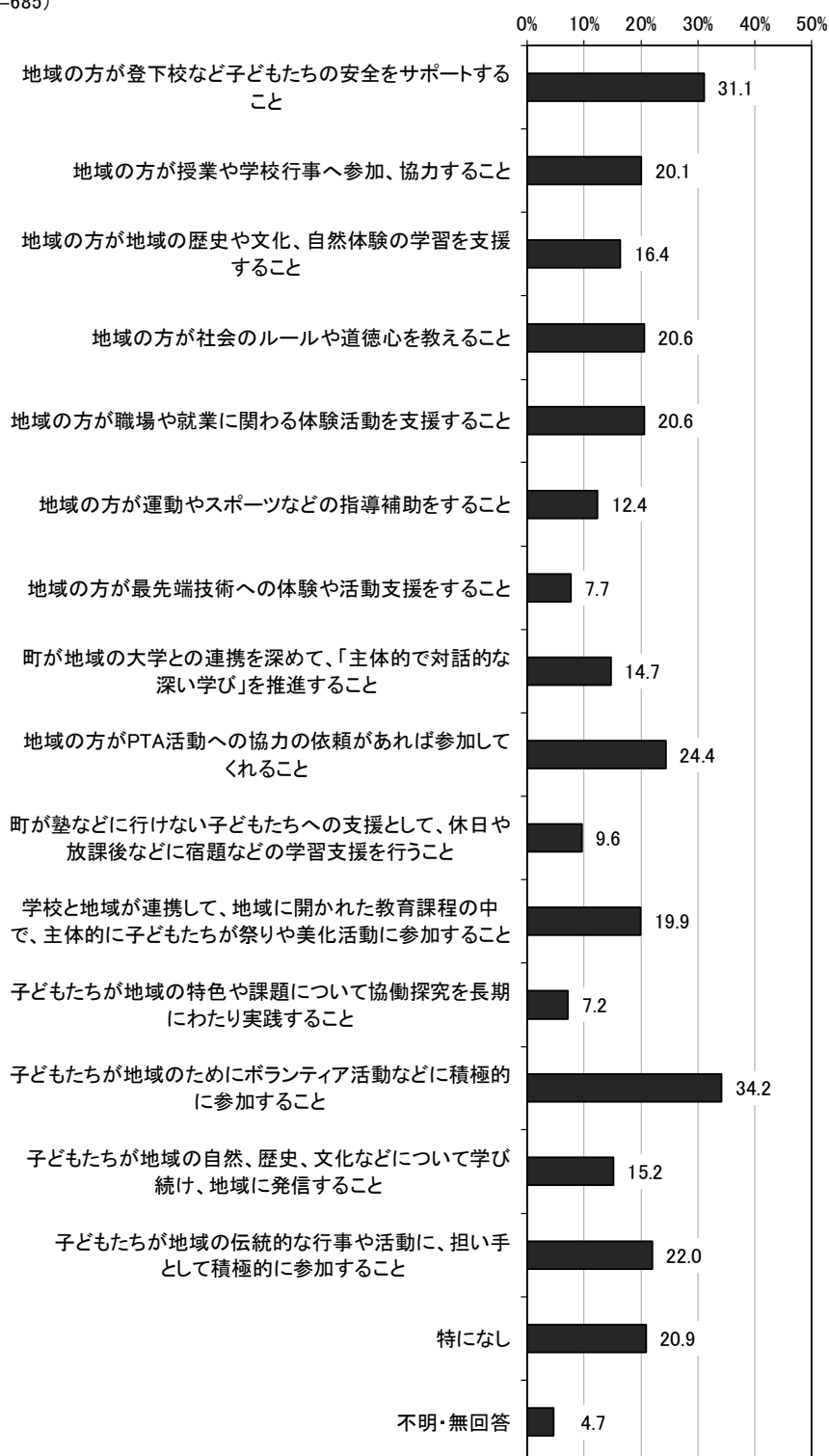
地域における中学校の役割についてみると、そう思う（『そう思う』と『ややそう思う』の合計）では「③避難所など、地域の防災拠点であること」が65.4%、「②子どもたちとの交流ができる施設であること」が52.8%、思わない（『そう思わない』と『全く思わない』の合計）では「⑤地域のイベント会場の場であること」が23.6%と高くなっています。



(3) 中学校との関わりについて、あなたが継続的に協力できることは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

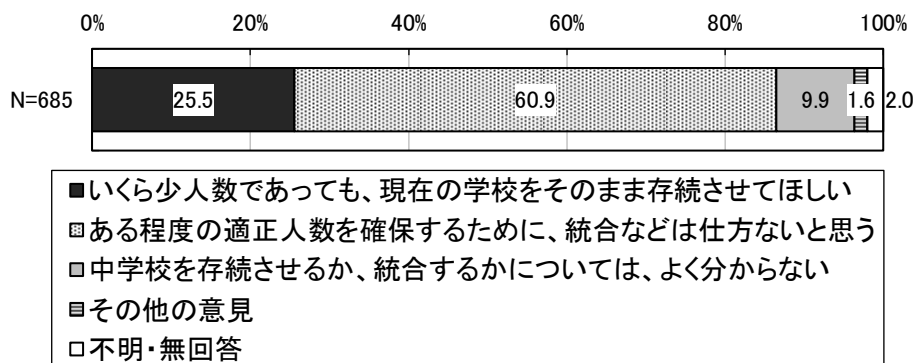
中学校との関わりについて継続的に協力できることについてみると、「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」が34.2%と最も高く、次いで「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートすること」が31.1%、「地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること」が24.4%となっています。

(N=685)



(4) 子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて（1つに〇）

廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないかについてみると、「ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う」が60.9%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい」が25.5%、「中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない」が9.9%となっています。



(5) もしも、今、子どもたちが通学している中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか（1つに〇）

中学校が統合され、廃校、休校となった場合についてみると、「今まで通り住み続ける」が80.6%と最も高く、次いで「どうするか分からない」が13.6%、「町外の学校の近くに転居する」が1.6%となっています。

